

自立活動 授業実践

- 1 単元名 【さんしーぼっちゃたいかい を ひらこう】
ー協力して 楽しく 活動しようー

2 単元の評価規準

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領では自立活動の目標を以下のように定めている。

個々の児童または生徒が自立を目指し、障害による学習上の又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養いもって心身の調和的発達の基盤を培う。

また、自立活動の内容3「人間関係の形成」を次のように定めている。

- (1) 他者との関わりの基礎に関すること。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。
- (4) 集団への参加の基礎に関すること。

本単元では、チーム(クラス)全員でルールを守って協力することで、楽しく取り組めることに気付かせたい。

3 教材のとらえ

本教材は、学年全体で繰り返し実践している活動である。学年全体で行うボッチャのことを「〇〇ボッチャ」と呼んでいる。活動は、6つのグループに分かれて、勝敗を決める。司会、始めの言葉などの係もグループ単位で行い、他のクラスの子どもたちとの交流を深め、協力や協調も学んでいる。しかも「〇〇ボッチャ」は、本当のボッチャと違い、ルールやゲームの仕方が子どもたちに分かりやすくなっていて、安心して活動できるので、子どもたちの大好きな学習の一つである。また、1年間に3回、繰り返し活動をしてきているため、見通しがもて、安心感に繋がっている。そして学年・性別・個性が違っても同じように参加し、活動がしやすい内容である。今回は、年度当初ということ、未経験の1年生がいること、少人数でかつ安心感のある自分のクラス単位で行えば、取り組みやすいだろうと考え、学年全体で行う「〇〇ボッチャ」の前に、身近な隣のクラスとの対抗戦を行うこととした。時期的な問題で、「〇〇ボッチャ」と「さんしーぼっちゃ」とが並行して行われることになってしまった。子どもたちが混乱しないように、かつ同じ内容の活動を利点に変え、活動していきたい。

4 本時の指導

- ①本時の目標 ・「はい。」と元気よく返事をし、自分の「がんばりたいこと」を頑張ることができる。
・ぼっちゃを楽しむことができる。

②本時の学習

学習活動	教師の支援
1、前時までを振り返り「さんしーぼっちゃたいかい」を行うことを確認する。	・前時までのふりかえりがしやすいように、話をする。

